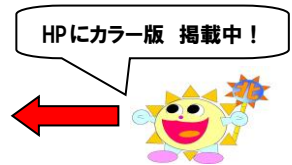


浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和3年 10月号

「あなたは どうする？」

2学期は、新型コロナウイルス感染症対策緊急事態措置の中、始まりました。学校では感染予防対策を講じながらも、子どもたちの生きる力を育み、そのために必要な生活や学びの場を持続可能な方法で工夫して行うことを教職員で確認してのスタートとなりました。

9月2日（木）には、避難訓練を行いました。あいにくの天気となりましたが、子どもたちが防災への意識を高め、適切な行動が自分でとれるよう、今回は休み時間に地震が発生した想定で行いました。訓練の後には、教室や廊下などそれぞれが避難した場で振り返りを行い、適切な行動がとれたか確認をしました。いつ起こるかもしれない災害時に、自分で考え行動できる力を今後も育てていきたいと思えます。

さて、9月の防災週間にはメディアでさまざまな特集が組まれました。ジャーナリストの池上彰さんが、防災に関する子どもたちの疑問に答えている新聞記事がありましたので紹介をさせていただきます。子どもたちの「地震に備えるために一番大切なことは？」という質問に、池上さんは「地震でも、大雨でも大事なことは想像力。今、何か起きたらどうするのかを考える」と答えていました。また、「(略)避難の途中で何を優先させるとよいか教えてください」という質問では、池上さんは「あなたならどうする？」と問いかけ、「(略) いろんな場面で『あなたは どうする？』と問われる。自分が助けるのか、自分だけでは無理なら社会で助けるのか、国が助けるのか、ということを考える。そういう意識をもってもらいたいと思います」と答えていました。また、正しい情報を手に入れるには「発信元はどこか、確認が大切」とも言われていました。

そして、池上さんは最後に、子どもたちへのメッセージとして「**大事なことは想像力を発揮すること。**避難するときに足の弱い人がいたらどうするのか、みんなで弱い人をどうやって助けていくのかを考える。常に考えるようになる。社会に対する注意力、周りに対する観察力が実はすごく磨かれることになる。観察力が身につくと、大人になって社会の問題点にも気がついてくる。弱い立場の人をどうすればいいのか。社会をよくするにはどうしたらいいんだろうということにつながっていく。ぜひ、観察力を身につけてほしい」とおっしゃっていました。

災害時にかかわらず、私たちの生活は、さまざまに考え、判断をして、行動することの繰り返しです。本校の現職教育では、学習の振り返りを大切にしていますが、「自分はこう考えた」「自分ならこうする」など、自分と向き合い、自分で考えさせる場を、今後も学校生活の中で意識して与えていかねばと改めて思いました。考えることが観察力や想像力を高めることになり、自分や周りの人に対して自分なりの最適な判断で行動できることにつながります。現在のコロナ禍の中でも、自分なりに考え、判断し、行動できる力を一人一人が身につければ、自分や周りの人への安心・安全が高まると思えます。「自分で考える」「想像力で他者への思いやりの気持ちをもつ」浅井北小学校をこれからも目指していきます。



【正しい手洗いをおさらい】



【「ちゃんと洗えたかな？」
特殊ライトで確認】



【1人1台端末での学びスタート
ルールやモラルも大切に】